



通算才107号

1965~1966-5-4

函館北ロータリークラブ

第96回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

本日のプログラム

会員卓話

「カラーテレビについて」

高杉重雄君

- 司会 遠藤会長
- 斉唱 君が代 我等の生業
- ビジター 菊地忠義君(森 タクシ-業)
- 阿部文男君他7名(函館) 中沢竹也君他8名(函館東)

会長挨拶

インターンティ・ゼネラル・フォーラムも目前に迫り、いよいよ今月の29日に行なわれます。「ロータリー問答」をよくお読み下さつて「ロータリー」を理解し、フォーラムの場で大いに討論していただきたい。

幹事報告

- 「ロータリー問答」の代金450円を、各自事務員までお届け願います。
- 例会終了後役員会を行ないます。
- 350地区年次大会は9月24日釧路市に於いて。
- 352、353地区連合年次大会は10月1日郡山市に於いて。

ニコニコ・ボツクス

- お誕生日おめでとウ 戸栗君(29日)
- 奥様のお誕生日おめでとウ。 高杉君
- 御結婚記念日おめでとウ。 森君 塚田君 青柳君 戸栗君
- 飯田貢一君のベンケイ綿KKでは、明後日(5月6日)岩手県平泉町の通尊寺で、「弁慶の碑」を寄贈された除幕献納式を行なうことになりました。
- 函館市のこの度発表された高額所得者の中に、当クラブ関係者が3名入つておりました。飯田貢一君のお父さん 深瀬君 宮崎君

出席報告

- 本日 会員数31名 出席23名
- 先週の確定出席率 80.65%
(会員数31名 当日出席22名 メーク・アップ3名 計25名)
- 他クラブの状況

函館東(4月26日) 89.86% 函館(4月28日) 98.03%

生活面からみても病気に変化があります。最近の工業化、都市化の影響により、交通事故による障害や公害による病気も多くなつて来ました。例えば空気の汚染による慢性気管支炎、喘息、肺気腫があります。

又世の中が忙しくなると、ノイローゼやストレス病が増えて来ました。ストレスとは「歪み」であり、人間に加えられる圧迫、特に精神的な緊張が絶えず加えられると、遂にそれに抗しきれなくなり、血圧上昇、心臓神経症、糖尿病、胃潰瘍等がおこるわけです。マネージャー病も同じことです。

心とは大脳の働きであります。脳細胞は星状になつていて、突起から細い線が出ていて、生まれた時から数は約150億と決まっています。始めは線の繋がりがありませんが、色々経験を重ねてゆくうちに線が繋がり、繋がりが多し程その人の頭の働きが良いということが最近わかりました。気狂いは細胞の間の繋がりはあるが、細胞そのものが変化した状態であり、ノイローゼは細胞は健在で繋がりが異常な状態です。又精神の不安を鎮めるトランキライザーや、精神賦活剤なる薬もあります。従つて脳の細胞に特に栄養を与える薬をやつたら良いのではないかとの考え方も出て来ます。精神医学では、脳細胞の変化の少ないうちに薬を使えば精神病は治ると教えています。「三つ児の魂百まで」と言いますが、脳細胞の繋がりが3才頃から出来始めることを考えると、この時期の「しつけ」が将来の人格をつくる上で如何に大切かがわかります。

函館市の精神病患者は約3500人と推定されています。保健所で把握しているのは1500人で、うち700人が入院中です。残りの800人は自宅にありますが、これに対しては保健婦が月1回位家庭訪問をし、経過観察と指導にあたっています。精神衛生法の施行により、治療が無料で出来るようになったのは心強いことです。精神病で最も多いのは精神分裂病で、他にはてんかん、そううつ病があり、アルコール中毒症も増えてきました。

精神衛生についての結論は、日常生活を明るく健全にしておくことと言えましょう。更に溯れば、赤ちゃん(乳幼児)時代からの「しつけ」が大切です。又世の中が忙しくなると不平不満が多くなりますが、その処理法が問題です。腹いせに悪いことをするようでは困つたものです。時日をかけ、努力をすれば自分の慾望が叶えられるのだと考え、又は高望みをせずに自分に応じた慾望を求める、又は一の慾望が駄目なら才二の慾望に変えるとか、気分転換をするとか、或るいは他人に迷惑をかけない憂さ晴らしをすることが必要でしょう。要するに逆境にあつても、自分の中に幸せを見出す訓練が大切です。

出席報告 先週の確定出席率 83.87%
(函館 93.46% 函館東 95.65%)

次回(5月11日)のプログラム 会員卓話 高杉君

映 画 人間の世界（分裂病に抗して）

忌まわしい精神病患者といえども、人間らしい生活に復帰する権利がある。そして現代では精神病は不治の病ではない。かつては狂人として病院に送れば罰足れりとした時代があつた。人間性を全く無視した牢獄のような監禁室とむごい電気ショック療法。そのような時代は去つて、新しい抗精神薬による治療と、作業やリクレーションによる治療が開始されるようになった。言わば、閉鎖の病院から開放の病院へと、精神病の治療が一変したのである。

最も多いのが精神分裂病。画面には先ず様々な病態の患者が登場する。彼等の「心」は麻痺している。単純な動作の繰り返しや意味のわからぬ独語……彼等は生きてはいない。彼等は単なる「影」にすぎない。

画面が明るくなつた。「母さんの歌」の合唱が流れてきた。軽快した患者の作業療法の一シーンである。リクレーションの場面も出てくる。孤立から共同生活に入つた彼等には、人間同士の付き合いが復活し、失われていた心の触れ合いが戻ってくる。医師の最も大切な仕事は、医師と患者が人間的に接することである。

分裂病は20才前後に発病し、100人に1人の割合で多く出現する。ある大学の教養学部2年の女子学生が分裂病になつた。映画はしばらく彼女の闘病記録に焦点が合わされる。強力な薬物療法にもかかわらず、病状は次第に悪化してゆく。眼は狂人らしく鋭くなり、食物も拒み、屢々死の観念にとらわれた。この苦しみが3ヵ月余も続いた。彼女を治すべく、看護者の働きかけはしつように続けられた。菓をのませ、食事を口許まで運んでやる。絵をかかせてみたり、卓球に誘つてみたり……。かくて4ヵ月後に漸く、そして突然のように彼女に朝がやつて来たのである。以前のぎこちなさ、かたくなさがなくなり、不自然な表情も消えた。歌声がきかれるようになり、身体に生気が甦り、苦しみは全く去つた。観ていた我々には驚異的な変りようであつた。そしてホツとした。「命の洗濯みたいだつた」と彼女は述懐する。

退院患者がまとまつて働いている職場が紹介される。彼等は生の社会に適応出来る力をつけなければならぬ。薬は続けている。「世間を頼りにするのは無理、自分で解決しなければ」と彼等は語る。社会との中間施設さえあれば病院を離れ得る人は多い。彼等の治癒と社会復帰を阻むもの、それは現在の医療制度と社会である。このことを医師として、看護者として、否私達すべてが同じ人間として、あらためて自らに問わなければいけないのではないか。

次回（5月18日）のプログラム

会員卓話　　〆肝油の漫談〆　　青柳喜一君



通算才108号

1965~1966-5-11

函館北ロータリークラブ

第97回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

本日のプログラム

会員卓話　　〆肝油の漫談〆　　青柳喜一君

司 会 遠藤会長

斉 唱 手に手つないで

ビジター 渡辺亀三郎君他9名（函館R.C.）

新谷武四郎君他9名（函館東R.C.）

会長挨拶

- 桜の季節となりました。「声よくば歌わんものを桜散る——」の句が思い出されます。5月11日は函館では、大正2年に才1回護国神社祭が、昭和33年に才1回花まつりが行なわれています。
- 太奏先生から「工業高専早わかり」のプリントをいただきました。才1回卒業生をいよいよ明春送り出すことになりましたので、「函館工業高専」につきよく御理解いただくと共に、優秀な学生ぞろいですので、卒業生の採用につき特段の御関心、御協力をお願いする次第です。

幹事報告

- フォーラムにつき協議致したいので、例会後全員お残り願います。
- 前回にもお願いしてありましたが、新年度に住所、電話番号等の変更になる方はお届け下さい。本日で締め切ります。
- 350地区協議会 北見、北見東R.C.をホストとして、6月26日に北見藤学園で行なわれます。
- 358地区年次大会 11月16日に東京で行なわれます。

会員卓話　　〆カラーテレビについて〆　　高杉重雄君

カラーテレビは昭和15、6年頃からアメリカで大々的に研究され、CBS方式（フィールド順次方式）が実験の中心でした。24年頃にはアメリカで白黒テレビが急速に発達し、放送局数107、受像機台数1050万に達し、カラーテレビは白黒テレビと両立する方式以外考えられなくなりました。26年にCBS方式が認可になり商業放送を開始しましたが、メーカー側と他の研究